

『コンパクトシティ蕨』将来ビジョン推進プランⅢ(案)の概要

策定の趣旨・目的

本市では、令和6年度から10年間を計画期間とする新たな最上位計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンⅡ（以下「将来ビジョンⅡ」という。）を策定し、目指すまちのビジョンに掲げる「安心・にぎわい・未来 みんなで創る みんなにათათかい みんなのまち蕨」の実現に向けてまちづくりを進めています。

将来ビジョンⅡを着実に進めていくためには、引き続き、不断の行政改革を進めるとともに、歴史・文化、コミュニティの豊かさと利便性の高さをあわせ持つ「コンパクトシティ蕨」の魅力を最大限に活かしながら、市民と行政が一体となって市を運営していくことが重要です。

そのため、市では、市を取り巻く諸情勢の変化などに対応した新たな行動指針として、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランⅢを策定します。

計画期間

計画期間は、令和7年度を初年度とし、令和11年度を目標年度とする 5 年間とします。

策定の視点

これまでの行政改革の取組の実績を踏まえ、引き続き、市民と行政が心を通い合わせた「市民との協働」をいちばんの推進力としつつ、さらに、将来ビジョンⅡで掲げる基調コンセプトである「DX」や「SDGs」を分野横断的な視点としながら、社会経済情勢等の変化に対応できる持続可能な都市経営に資するプランとします。

本プランの推進項目

1. 協働の更なる推進

○市民参画・協働にかかる制度の効果的な運用

- ・SDGs提案制度を活かしたまちづくりの促進
- ・幅広い世代の市民参画の促進

○多様な主体との協働によるまちづくりの推進

- ・地域力を活かした住み良いまちへの取組支援
- ・公民連携の更なる充実・強化
- ・民間との連携による施設の整備・事業の運営
- ・関係機関との連携による空き店舗対策の推進
- ・多文化共生のまちづくりの推進
- ・スマートウェルネスシティの実現に向けたまちづくりの推進

○地域資源の活用とまちの魅力の発信

- ・蔵ブランドなどの地域資源の更なる活用・展開
- ・まちへの愛着醸成と市のイメージアップの推進
- ・SNS の活用によるまちの情報や魅力の更なる発信

2. 職員力・組織力の更なる向上

○職員力の発揮

- ・時代の変化に対応した人材の確保と育成
- ・健康で元気に働く職員・職場づくりの推進
- ・公務員制度の改正に対応した人事管理

○時代に即した組織と業務運営

- ・効率的・効果的な組織運営と定員管理
- ・職員提案制度の活用
- ・窓口機能等の利便性の向上

○大学との連携強化

- ・行政課題の解決に向けた大学連携

3. 自律した行財政運営

○財源の確保

- ・市税等の収納率の更なる向上
- ・再開発や定住促進による安定的な税收確保
- ・国民健康保険税の見直し
- ・多様な手法による財源の確保

○効率的・効果的な事務事業

- ・新たな民間活力の導入と民間委託等の更なる推進
- ・行政評価制度の適正な運用
- ・その他事務事業等の見直し

○自治体 DX 推進事業

- ・デジタル技術の活用による市民の利便性向上と行政事務の効率化

○将来に負担を先送りしない財政運営

- ・ファシリティマネジメントの推進
- ・上・下水道事業の健全な財政運営
- ・土地開発公社経営健全化の計画的な推進